

平成30年度  
事業報告書

自 平成30年4月 1日

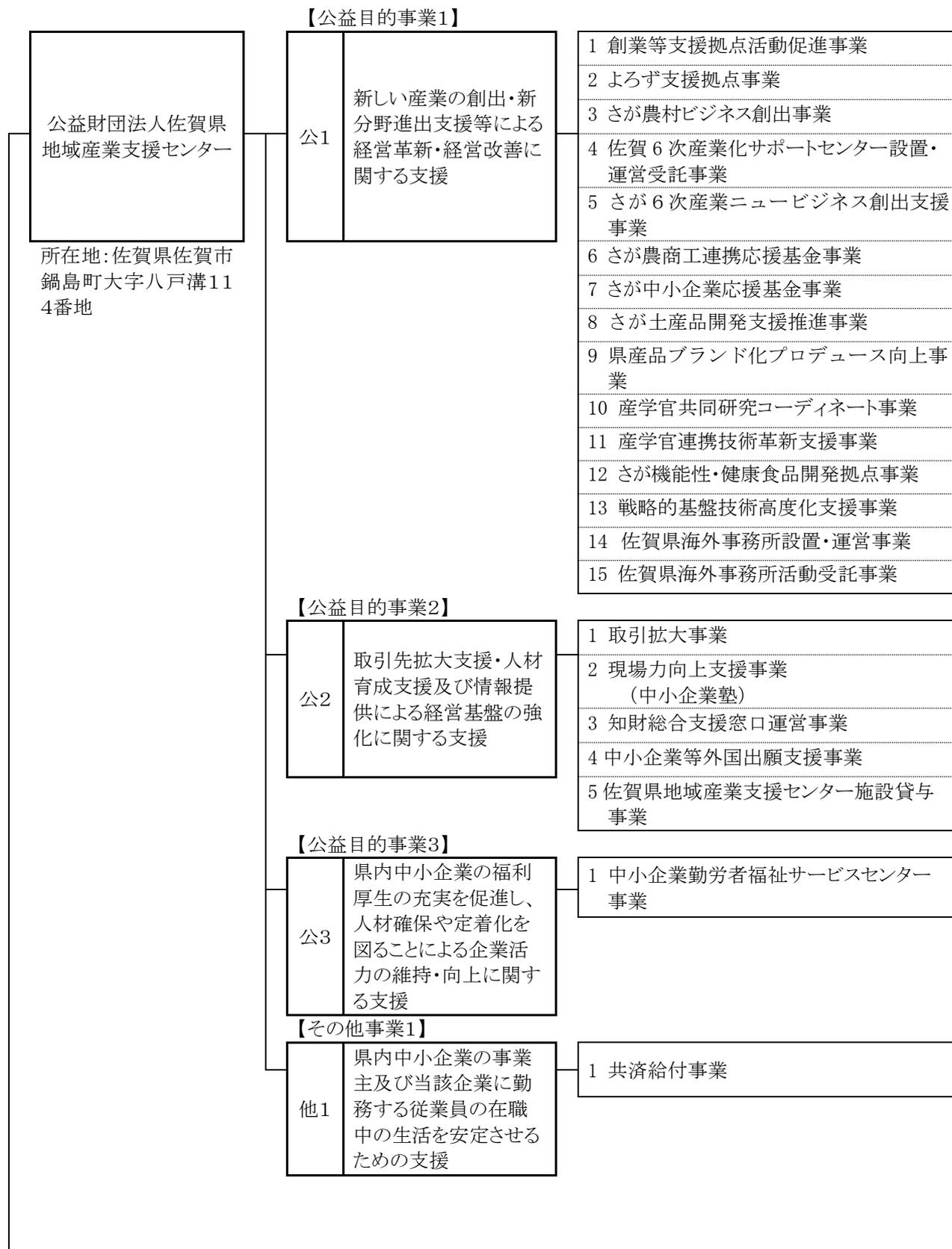
至 平成31年3月31日

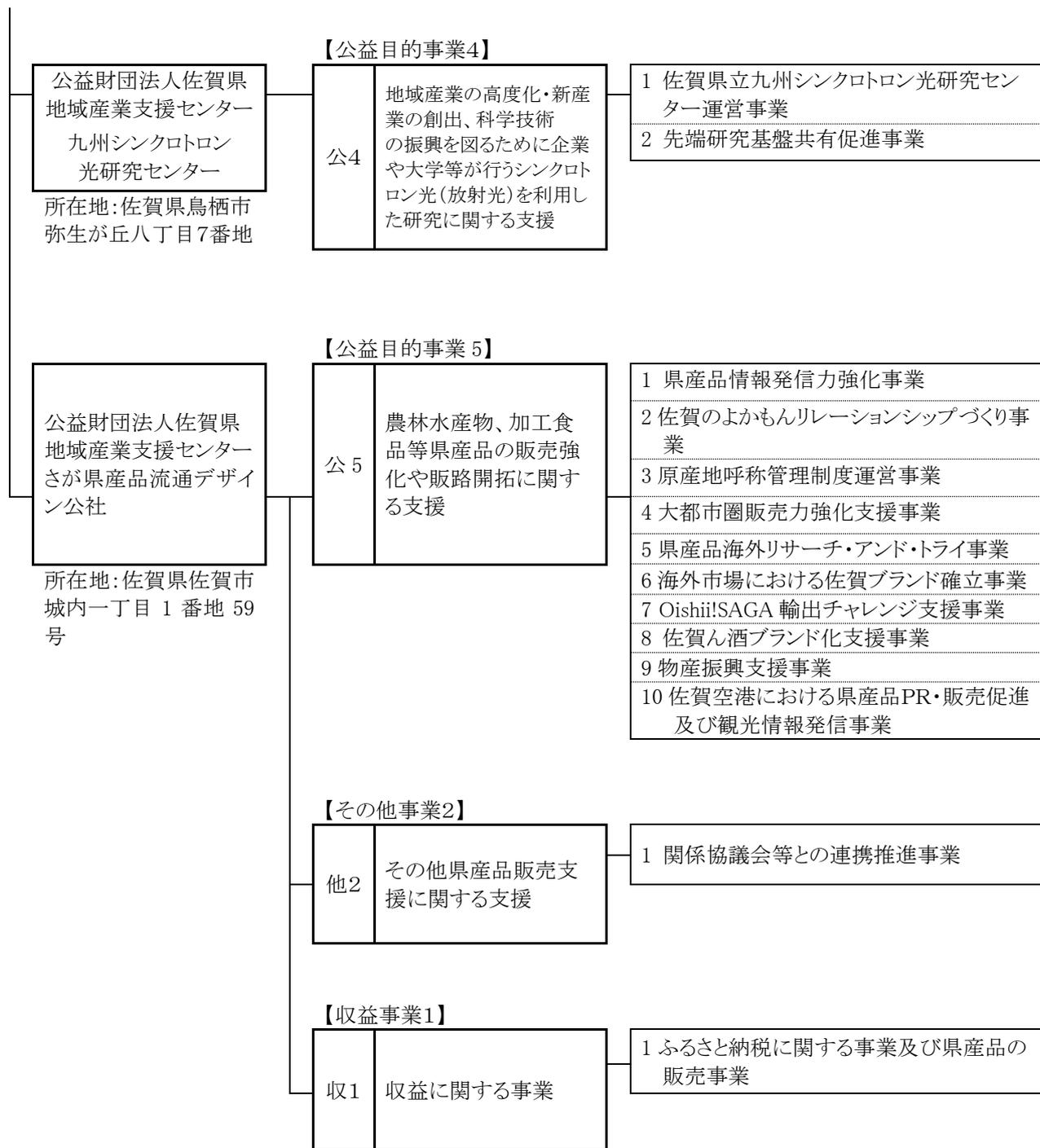
公益財団法人佐賀県地域産業支援センター

# 目 次

第 1	平成 30 年度事業体系.....	1
第 2	平成 30 年度事業報告.....	3
1	新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公 1）.....	3
2	取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公 2）.....	27
3	県内中小企業の福利厚生の充実を促進し、人材確保や定着化を図ることによる企業活力の維持・向上に関する支援（公 3）.....	33
4	県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他 1）.....	35
5	地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公 4）.....	36
6	農林水産物・加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援（公 5）.....	39
7	その他県産品販売に関する支援（他 2）.....	43
8	収益に関する事業（収 1）.....	44
第 3	庶務事項.....	45

# 第1 平成30年度事業体系





## 第2 平成30年度事業報告

### 1 新しい産業の創出・新分野進出支援等による経営革新・経営改善に関する支援（公1）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、佐賀県内の経済及び雇用を実質的に支えている中小企業に対し、新しい産業の創出や新分野進出に対する支援、また、経営革新や経営改善に関する支援を行うことを目的としている。

#### 【事業の構成】

本事業は、次の15の事業から構成される。

- (1) 創業等支援拠点活動促進事業
- (2) よろず支援拠点事業
- (3) さが農村ビジネス創出事業
- (4) 佐賀6次産業化サポートセンター設置・運営受託事業
- (5) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業
- (6) さが農商工連携応援基金事業
- (7) さが中小企業応援基金事業
- (8) さが土産品開発支援推進事業
- (9) 県産品ブランド化プロデュース向上事業
- (10) 産学官共同研究コーディネート事業
- (11) 産学官連携技術革新支援事業
- (12) さが機能性・健康食品開発拠点事業
- (13) 戦略的基盤技術高度化支援事業
- (14) 佐賀県海外事務所設置・運営事業
- (15) 佐賀県海外事務所活動受託事業

#### 【公1個別事業の内容】

- (1) 創業等支援拠点活動促進事業 [17,305,433円：佐賀県補助事業]  
《担当部署：経営改善支援課・ものづくり振興課》

県内における創業・ベンチャー・経営革新・経営改善を促進するため、中小企業者の経営資源の充実・強化及び新事業創出を促進する体制を整備し、支援を行った。

#### ア 支援体制整備事業

経営指導の経験を持つマネージャー(1名)やITコーディネータ(1名)を配置し、創業者、ベンチャー企業、経営革新・経営改善を目指す企業から様々な経営課題の相談を受け、70社に対し、延258回の課題解決に向けたビジネスプランブラッシュアップ、アドバイス等の支

援を行った。

[主な支援内容及び企業数]

- ・ものづくり企業の経営体質強化・人材育成…26社
- ・ICT活用による業務改善…44社

## イ 専門家派遣事業

意欲的な中小企業者の情報化や経営改善に係る諸施策等に関する課題に応じて、民間の専門家を派遣し、診断・助言を行った。

- 派遣企業数：10社・派遣日数：45日

戦略策定	労務管理	品質管理	経営改善
2社	0社	3社	5社

- ミラサポ事業（中小企業庁事業の派遣窓口として機能）を活用して専門家派遣を実施。 派遣企業数：10社 派遣日数：17日

経営革新	IT活用	創業	地域資源	販路開拓	商品開発	人材育成
0社	5社	0社	0社	4社	0社	1社

## ウ ベンチャー交流ネットワーク事業

ベンチャー企業や起業家・創業希望者等の相互の情報交換及び産学官の各種専門家や近県ベンチャー企業との交流等を通して事業提携、事業協力の機会等を提供した。

### 【開催内容】

- 第1回例会（総会） 平成30年5月17日（木）

- ・記念講演「13年前の佐賀での起業からAI事業までの山あり谷あり」  
講師：木村隆夫氏（木村情報技術株式会社代表取締役）
- ・関係機関による融資制度紹介  
（独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部、株式会社日本政策金融公庫佐賀支店）

- 第2回例会 平成30年8月21日（火）

「女性だけの女性のためのフォーラム『プティ LE ピエール』  
(Sagaに眠っている未来の女性起業家を創出)

- ・Sagaの起業家紹介  
有限会社二葉 代表取締役 荒川国子氏  
ネイリスト 橋口加奈子氏  
株式会社アクティブ 代表取締役 渡辺香子氏  
HANA デザイン事務所 代表 北島久美子氏  
Office color 代表 黒田 彩氏
- ・パネルディスカッション  
モデレーター：有限責任監査法人トーマツ 伊藤彩華氏  
パネラー：株式会社オヤモコモ 代表取締役 山下千春氏

同会社 Alotta 古川麻由美氏  
・カフェトーク

- 第3回例会 平成30年11月15日(木)
  - ・講演「ふるさと納税総合サイト“ふるさとチョイス”を立ち上げるまで」  
講師：須永珠代氏(株式会社トラストバンク代表取締役)
  - ・さがラボチャレンジカップ2018表彰式(後掲)
  - ・関係機関事業紹介  
(独立行政法人 中小企業基盤整備機構 九州本部)

- 第4回例会 平成31年2月27日(木)  
「佐賀県中小企業合同展示会」  
(会員が保有する商品や技術等をアピールし自らの企業努力で会員の販路拡大や新たなビジネスパートナーの獲得を目指すための展示会)
  - ・参加者：241名、展示企業：49社、展示企業プレゼン：21社

- さがラボチャレンジカップ2018
  - ・一次審査：平成30年8月10日(金)～9月20日(木)  
応募総数16件のうち上位8件を一次審査通過者として選定
  - ・二次審査：平成30年10月15日(月)  
8件のプレゼンテーション実施後、受賞対象者を選定
    - 最優秀賞：株式会社 KMTec  
災害時用ポータブル電源システム
    - 優秀賞：A-noker  
予測栽培環境システムの開発・構築による「森のアスパラ」の生産・販売の拡大
    - 奨励賞：ユーコネクト株式会社  
要介護者・要支援者・アクティブシニア層向けの機能訓練サービス・就労支援サービスの展開
    - 奨励賞：Little Company  
国際コミュニティ食堂計画
  - ・表彰状授与式：平成30年11月15日(木) 第3回例会と併催

- 会員企業の展示会出展
  - ・SAGA ものすごフェスタ2018(8/24～26 佐賀市)
  - ・佐賀県トライアル倶楽部首都圏展示商談会(10/3 東京都)
  - ・第14回JNB新事業創出全国フォーラム in 北海道(10/17 札幌市)
  - ・九州山口ベンチャーマーケット(10/19 福岡市)

○勉強会

- ・「クラウドファンディングセミナー」 11/5
- ・「会計セミナー“将軍の日”」（中期5ヶ年計画立案教室）  
3回開催（8/28、11/27、1/16）

○ホームページ活用

- ・会員の活動状況、各種コンテスト受賞状況やコンテスト・セミナー案内などの情報を提供

**（2）よろず支援拠点事業**

**[65,654,441円：国委託事業]**

**《担当部署：経営改善支援課》**

中小企業や小規模事業者、創業予定者等の様々な課題に対応するため、国の採択を受け「よろず支援拠点」を当財団内に設置し、事業計画や販路開拓、商品開発、IT利活用、海外展開など幅広い分野の専門家を配置し、課題解決の支援を行った。

**ア 相談内容及び業種**

チーフコーディネーター1名、コーディネーター10名を配置し、534社、4,357件の相談に対応した。

○相談内容

IT活用	2,080件
デザイン（広告・商品）	893件
施策活用	487件
経営知識	361件
事業計画策定	203件
広報戦略	85件
資金繰り	68件
雇用・労務	61件
その他	119件
合 計	4,357件

○相談者業種

1次産業	農林漁業	207件
2次産業	建設業	175件
	製造業	876件
3次産業	情報通信業	19件
	運輸業	27件
	卸売業・小売業	796件
	サービス業	1,139件

学術研究、専門・サービス業	17 件
宿泊業・飲食サービス業	593 件
生活関連サービス業、娯楽業	1 件
医療・福祉	421 件
その他	86 件
合 計	4,357 件

## イ セミナー開催

経営課題の解決やセミナー受講者を相談事業に誘引することを目的にセミナーを開催した。

○当拠点のコーディネーターや、よろず支援拠点全国本部サポーター等によるセミナーを7回開催した。

①平成30年5月19日(土)	CMS 対決 inSAGA!
②平成30年6月16日(土)	100年企業のために 事業継承セミナー
③平成30年9月15日(土)	小さく初めて1億売ったママ企業 私の方法
④平成30年10月20日(土)	人手不足時代の人材確保術 セミナー
⑤平成30年11月13日(火)	働き方改革！はじめの一步
⑥平成30年11月17日(土)	ICTを活用した生産性向上セミナー
⑦平成31年3月16日(土)	「広報の魔術師」が伝授する プレスリリースセミナー

## ウ 出張相談どこでもよろず実施

新たな相談者の発掘やよろず支援拠点事業の周知を目的に、出張相談「どこでもよろず」を実施した。県内110カ所の出前先を登録し、コーディネーターが訪問して、17回の相談対応を実施した。

## エ サテライト設置

相談者の利便性向上や新たな相談者の発掘を目的に、サテライト相談所を県内6カ所（唐津市、伊万里市、鹿島市、嬉野市、みやき町、有田町）設置し、1,083件の相談対応を実施した。

## (3) さが農村ビジネス創出事業

[23,748,452円/佐賀県補助金]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

中山間地域等の農村への新しい人の流れをつくることにより農家の所得向上と農村地域の活性化を図るため、当財団内に支援員を配置し、農村ビジネス実施者への支援、地域の農業者等への働きかけ、コーディネート、研修会の開催などを行った。

ア 農村ビジネスに関する相談

コーディネータ 2 名を配置し、283 件の相談対応をおこなった。

【相談内容】

体制づくり	72 件	26%
ビジネスプランの企画	64 件	23%
農村ビジネス（開設・運営）	32 件	11%
地域コーディネート	25 件	9%
人材育成	23 件	8%
情報発信	15 件	5%
その他	52 件	18%
合計	283 件	100%

【業種別】

行政	26 件	9%
農家	56 件	20%
任意団体	56 件	20%
農産物直売所等事業者	54 件	19%
地域おこし・集落支援員	18 件	6%
NPO等	17 件	6%
その他	56 件	20%
合計	283 件	100%

イ セミナーの開催

① 平成 30 年 5 月 29 日

さが農村ビジネスフォーラム

『探そう「ワタシ流」！それぞれの農山漁村の磨き上げ』

○基調講演：株式会社グラノ 24K

奥本 馨氏 加悦典子氏

○パネルディスカッション

② 平成 30 年 7 月 18 日

実践研修 「農産物直売所等お悩み座談会」

○話題提供

「出口調査からみた直売所利用者の傾向について」

農村ビジネス振興課 チーフコーディネータ 平野有啓氏

○グループ討議 「お悩み座談会」

③平成 30 年 9 月 4 日

実践研修 「いま知っておきたい農家民宿のこと」

- 情報提供：農家民宿の新しい動きについて（県農政企画課）
- 講演：講演 「農村ビジネスにおける農家民宿の役割」  
(株) 高千穂 ムラたび 代表取締役 飯干淳志氏
- 意見交換：テーマ「これからの農家民宿に必要なこと」

④平成 30 年 9 月 6 日

実践者ステップアップ研修 先進的事例視察研修

- 視察先：有限会社宮川洋蘭 宮川将人氏
- 内容：・宮川洋蘭のこれまでの取組について  
・ボトルフラワーの取組について  
・農家ハンターの取組について

⑤平成 31 年 1 月 22 日

実践研修 「全国縦断！直売所経営セミナーin 佐賀県」

～数値から読み解く、農村ビジネス経営のいろは～

- アンケート調査から見てきた佐賀県の農村ビジネスの現状
- 必見！売上を上げるためのマル秘策  
～全国の農産物直売所に学ぶポスレジデータの活用事例から～
- まだまだ活用できるポスレジの機能

⑥平成 31 年 1 月 25 日

実践者ステップアップ研修 農業体験ツアー実践研修

- 場所 唐津市内 現地圃場他
- 行程  
(1) しそ摘み体験、圃場見学（株式会社麻生園芸）  
(2) 昼食（シェフとのコラボ企画）・交流  
(3) 花摘みとアレンジメントの体験（株式会社クラベル・ジャパン）

ウ 農村ビジネス実施支援

①県内直売所連携イベントなどの企画支援

「嬉野直売所合同企画 みゆき to まんぞく うれし～の week」

- 開催月日：3 月 16 日（土）～3 月 24 日（日）
- 内容：スタンプラリー等によるイベント

#### (4) 佐賀6次産業化サポートセンター設置・運営受託事業

[21,316,864円：佐賀県委託事業]

《担当部署：農村ビジネス振興課》

農山漁村や地域産業の活性化を図るため、農林漁業者・団体の6次産業化への取組や、消費者のニーズを反映するマーケットインの視点で農林漁業者等と商工業者等が連携する取組に対して支援を行った。

##### ア 相談の受付

- ・農林漁業者等からの相談に応じるため常設の相談窓口を開設
  - ・農林漁業や商工業、流通、経営等の分野の専門家（コーディネータ）が、農林漁業者等からの相談対応に加えて、農林漁業者等と商工業者等のニーズ・シーズの掘り起しやマッチングを実施
- ⇒ 相談件数 403件

##### イ 専門家派遣の実施

6次産業化や多様な業種との連携などを推進するため、加工技術やブランド化、事業計画策定等の相談内容に応じた専門家の派遣

⇒ 延べ178回専門家を派遣

##### ウ 研修会・交流会の開催

新たに6次産業化に取り組む意向のある農林漁業者等へ知識・技術習得等の支援や商工業者等との交流会を行った。

###### ① 人材育成研修会の開催

- ・平成30年6月15日

講演「知恵とみかんをしばって生まれた“ほんまもん”

～につぼんのおいしいみかんに会いましょう～

株式会社早和果樹園（和歌山県） 代表取締役会長 秋竹新吾氏

トークセッション

「地元を愛するおやじたちの、次世代への熱き思い」

###### ② 実践研修会・現地見学会の開催

- ・平成30年10月9日

6次産業化事例現地見学会

場所：株式会社大地のいのち 崎戸食品工場（長崎県西海市）

道の駅さいかい みかんドーム

- ・平成30年12月18日

実践研修会（第1回）

講義「インターネットを活用した販売展開- ①」

株式会社サインズ 取締役企画営業 北川 学氏

- ・平成31年1月18日

講義「インターネットを活用した販売展開- ②」

株式会社サインズ 取締役企画営業 北川 学氏  
体験談「インターネットを活用した販売展開  
～経験者の体験に学ぶ～」

井手食品(有) 鶴恵美子氏、  
とまと屋ファーム江島 江島亜矢氏、  
大富牧場フライングカウ 大富藍子氏、  
農業生産法人株式会社サガンベジ 園田幸男氏、  
(株)肥前グローバル 坂口慎一氏

・平成31年2月6日

講演・実習

「思わず『いいね!』と言いたくなる、写真の撮り方講座」  
株式会社アングル 代表 水田秀樹氏

### ③ 異業種交流会の開催

農林漁業者等と商工業者等とのマッチング機会の創出

・平成31年3月12日

テーマ：「伝えよう！あなたが育てた商品の魅力」

(1) 講演「JR九州のD&S列車戦略と展開について」

九州旅客鉄道株式会社佐賀鉄道部長 中島 英明氏

(2) 事例紹介

①「メディアから見た、売れる商品」

フリーアナウンサー 森 美奈子 氏

②「皆さまの商品づくりをお手伝い～(株)丸菱のご紹介」

株式会社丸菱 佐賀営業所 渡辺康広氏、大淵英光氏

※展示・試食：6次産業化総合化事業計画認定事業者商品

### エ 展示商談会への出展

6次産業化商品の関東・関西地区への販路拡大のため、展示商談会へ出展した。

①アグリフードEXPO東京（平成30年8月22日～23日）6事業者

②アグリフードEXPO大阪（平成31年2月20日～21日）5事業者

## (5) さが6次産業ニュービジネス創出支援事業

[102,519,047円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

地域農林水産物の高付加価値化や新たなビジネス創出を促進し、地域経済の活性化を図るため、6次産業化の取組を行う企業（2次・3次産業事業者）を選定し、加工・販売用施設設備の整備等の実現に向けた支援を行った。

### ○平成30年度支払対象事業

【平成29年度採択事業】

(単位：円)

事業者	事業計画のテーマ	H30支払額
(株)ピックルスコーポレーション西日本	浅漬、キムチ、惣菜に係る農産物を、工場所在地（みやき町）近郊の生産者との契約栽培により仕入れを行う。製造した商品については、九州地区を中心としたスーパーマーケット、コンビニエンスストア、コープへの販売を行う。	① 100,000,000

### ○平成30年度採択事業

(単位：円)

事業者	事業計画のテーマ	交付決定額
		H30支払額
(有)玉喜	県内初 HACCP 対応新工場で業務用海苔特化生産ラインの設置により、佐賀海苔ブランドの拡大に取り組む。業務用海苔生産特化ラインにおいて、新たな設備、生産方式を導入し、海苔本来の色・香り・旨味を向上させる。コンビニエンスストアと連携し、コンビニおにぎりの販売や大手商社を通じた販売ネットワークを活用し、佐賀海苔ブランドの構築を目指す。	79,657,000
		② 0

【平成30年度支払額合計】

①+② 100,000,000円

## (6) さが農商工連携応援基金事業

[28,525,579円：基金事業]

《担当部署：ものづくり振興課》

県内中小企業と農林漁業者が互いの経営資源を有機的に連携し、農林水産物等を活用した新商品・新技術等の開発の取り組みを支援した。

ア 補助対象者 中小企業者と農林漁業者との連携体

イ さが農商工連携応援基金造成

基金造成額 25.2億円

(うち県借入金 20.1億円、地場金融機関 5.1億円)

ウ 基金果実により以下の事業を補助

○新商品開発等支援事業

新商品の開発、新役務の提供、試作品開発、展示会出展等に要する経費への補助

- ・補助限度額 500万円
- ・補助率 2/3以内
- ・新規採択件数 2件

○平成30年度支払対象事業

【平成28年度採択事業】

(単位:千円)

事業のテーマ	連携体の構成		役割	H30 支払額
魚の持つ有効成分を活用した無添加石けんの開発 ～魚のチカラ～	中小企業者	(株)ヤマフ (唐津市)【製造業】	原材料の調達、一次加工	3,235
	農林漁業者	佐賀玄海漁業(協) (唐津市)【漁業】	鮮魚買付、商品開発、販売	
レモングラスなどの佐賀特産品ハーブや果汁を使った新規のクラフトビールの開発	農林漁業者	農事組合法人 武雄そだちレモングラス ハッピーファーマーズ (武雄市)【農業】	クラフトビールに適したレモングラス(ハーブ類)の品質確保や加工の方法及び販売方法の確立	2,990
	中小企業者	宗政酒造(株) (有田町)【製造業】	佐賀県産麦芽100%ビールをベースに、県内特産のハーブや果実等を使ったクラフトビールの商品化のための技術の確立や検証及び販売方法の確立	
独自の循環型アミノ酸肥料で栽培したトマト熟成酒の開発	中小企業者	窓乃梅酒造(株) (佐賀市)【製造業】	地元産友幸素トマトを活用したトマト熟成酒の製造及び販売方法の確立	1,560
	農林漁業者	原田孝行 (佐賀市)【農業】	トマト熟成酒に適した友幸素トマトの栽培・搾汁及び品質確保の方法及び販売方法の確立	
青みかんを使った健康飲料水の開発	中小企業者	七浦地区振興会 (鹿島市)【組合】	道の駅鹿島内千菜市(食品部門直売所)における販売コーナーの設置、マーケットリサーチ	3,886
	農林漁業者	佐藤農場(株) (鹿島市)【農業】	原料となる極早生温州みかんの生産	
佐賀県産牛を原料とした生ハムの試作開発及び熟成方法の確立	中小企業者	(有)ふるさと倶楽部 (唐津市)【製造業】	ホルスタイン成熟牛を原料とした生ハム作成方法の研究	3,860
	農林漁業者	(有)セントラル牧場 (白石町)【畜産業】	ホルスタイン成熟牛の供給	
「佐賀県産黒大豆×佐賀県産枝豆・ロースト麦(パウダー)」豆菓子の開発	中小企業者	(株)宮本邦製菓 (武雄市)【製造業】	豆大豆菓子、麦大豆菓子の商品開発及び生産方法の確立	3,979
	農林漁業者	(株)イケマコ (佐賀市)【農業】	佐賀県産黒大豆の生産、佐賀県産黒大豆の枝豆・ロースト麦パウダーの加工	
				① 19,510

【平成29年度採択事業】

(単位:千円)

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				H30 支払額
ベースとなる豆乳ジェラートの開発	中小企業者	三原食品(有) (鹿島市)【製造業】	新種の大豆を活用した豆乳ジェラートの開発とイチゴの規格外を	5,000

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				H30 支払額
及び豆乳ジェラートと他の食材との組み合わせの研究開発			活用したイチゴ豆乳ジェラートの開発及び販売方法の確立	
	農林漁業者	山口真吾 (鹿島市)【農業】	大豆栽培	
アスパラガスの加工品開発計画	中小企業者	(有)サガ・ビネガー (佐賀市)【製造業】	アスパラガスを活用した酢の製造	4,630
	農林漁業者	安東浩太郎 (太良町)【農業】	今回の研究開発に適したアスパラガスの栽培と製品の評価、販売方法の確立	
				9,630
				② 5,000

○平成30年度採択事業

(単位:千円)

事業のテーマ	連携体の構成		役割	交付決定額
				H30 支払額
基山町特産品を使用した「基山ブランド食品」の開発	中小企業者	サンポー食品(株) (基山町)【製造業】	基山町の特産品を使用した試作、商品化、製造、販売までの業務	4,953
	農林漁業者	(株)基山ファーム (基山町)【畜産業】	基山町の耕作放棄地を利用したキクイモの栽培及びメニュー肉の提供	
インバウンドに向けた「古伊万里ブランド」のセットメニュー開発事業	中小企業者	伊万里アグリファーム(株) (伊万里市)【製造業】	ねぎ原料のカット、乾燥、粉碎、微生物検査、水分分析など品質の安定化研究 ねぎ麺、スープ、ソースの開発全般と運営支援及び事業化に向けた生産体制や販路開拓などに関する業務	4,151
	農林漁業者	伊万里市農業(協) (伊万里市)【農業】	伊万里ねぎの規格外品の集荷、選定をはじめ、加工食品の開発に関する全般的な業	
野菜(特にかぼちゃバターナッツ)の持つ特性を生かした、飲料水と加工食品の研究開発	中小企業者	(同)田島柑橘園&加工所(太良町)【製造業】	野菜の加工技術指導	1,785
	農林漁業者	松本修二 (鹿島市)【農業】	かぼちゃ(バターナッツ)の栽培技術 キュウリ、ゴーヤ等その他本事業に活用可能な野菜の栽培技術	
嬉野茶を活用したお菓子の開発	中小企業者	井上賢一郎 (嬉野市)【製造業】	菓子に適した茶葉の品質確保の方法の研究および販売方法の確立	4,824
	農林漁業者	三根孝一 (嬉野市)【農業】	嬉野茶を活用した新規のお菓子の製造および販売方法の確立	
佐賀県産豚を原料とした熟成肉の試作開発及び熟成方法の確立	中小企業者	(有)ふるさと倶楽部 (唐津市)【製造業】	佐賀県産豚を原料とした長期熟成肉の作成方法の研究	4,999
	農林漁業者	(有)よしい (唐津市)【畜産業】	原料豚の供給	
むらおか農園独自ブランドの”王様のイチゴ”を活用したお土産(焼菓子)の開発	中小企業者	次富あすか (小城市)【製造業】	試作・レシピ開発	3,266
	農林漁業者	唐島 晶悟 (江北町)【農業】	イチゴの加工用保存方法の研究及び新商品の販売方法の確立	



ウ 交付決定事業内訳

事業名	助成 事業者名	分 野	事業計画のテーマ	交付 決定額 (千円)
新製品開発事業	株式会社 アイティー インペル	次世代 産 業	認知症患者向け行動予測(排尿予 測・落下予測) システムの開発	4,199
	合 計			4,199
販路開拓事業	株式会社フ リーマム	地域資源	インテリア・ライフスタイル東 京 2018	518
	森鉄工株式 会社	地域資源	EURO BLECH2018 ドイツ	1,000
	三栄興産株 式会社	新産業	地方銀行フードセレクション	305
	有限会社渡 邊水産	地域資源	地方創生『食の魅力』発見商談	212
	株式会社ア イティーイ ンペル	次世代 産 業	CARETEX 福岡 2018	548
	大坪製菓株 式会社	地域資源	地方銀行フードセレクション	434
	佐賀県陶磁 器卸商業協 同組合	地域資源	東京インターナショナルギフ ト・ショー秋 2018	1,000
	有限会社マ ルハ園芸	地域資源	地方創生『食の魅力』発見商談 会 2018	300
	鍋島虎仙窯	地域資源	大日本市 (2018. 8. 29~8. 31)	532
合 計			4,849	

**(8) さが土産品開発支援推進事業**

**[37,361,623円：佐賀県委託事業]**

《担当部署：経営改善支援課》

佐賀を訪れた人が買いたくなる、人に勧めたくなるような魅力的な土産品の創出を図るため、県内の事業者に対し、土産品の商品開発から流通・販売・情報発信まで一貫した支援を行った。

**ア コンサルティング支援**

企業・商品のブランディング、土産品の商品開発から流通・販売、情報までの一貫したコンサルティングを受ける企業を募集し、選定された事業者に対する支援を行った。

**【平成29年度採択（第2期）】**

○期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

○コンサルティング実施者：(株)中川政七商店

○コンサルティング支援対象事業者

次の3事業者に対し、6回のコンサルティングを実施した。

①(有)篠原溪山（工芸）／西松浦郡有田町

②(株)川原食品（食品）／佐賀市川副町

③(株)蔵出しめんたい本舗（食品）／鳥栖市藤木町

○(株)中川政七商店主催の大日本市（平成31年2月）へ出展した。

**【平成30年度採択（第3期）】**

○期間：平成30年10月30日～平成31年3月31日

○コンサルティング実施者：(株)中川政七商店

○コンサルティング支援対象事業者

次の3事業者に対し、6回のコンサルティングを実施した。

①丸秀醤油(株)（食品）／佐賀市高木瀬西

②(有)平川食品工業（食品）／武雄市北方町大字志久

③(有)忠兼総本社（その他）／佐賀市高木瀬町

**(参考)【平成28年採択（第1期）】**

○コンサルティング実施者：(株)中川政七商店

○コンサルティング支援対象事業者

①名尾手すき和紙(株)（工芸）／佐賀市大和町

②鍋島虎仙窯（工芸）／伊万里市南波多町

③(合資)鶴屋菓子舗（食品）／佐賀市西魚町

## イ 成果発表会

平成29年度からコンサルティングを受けた第2期事業者が中川政七氏及び中川氏がアサインした担当のデザイナー、バイヤー等と対談し、経緯及び成果を発表した。更に平成28年度の第1期生もコンサル後の現状報告と今後の展望について発表した。

- 開催日時：平成31年3月7日（木）（14：00~17：00）
- 開催場所：ホテルマリーターレ創世（佐賀市東神野）
- 進行役：(株)中川政七商店代表取締役会長 中川政七氏
- 担当コンサル：(株)メソッド代表取締役 山田 遊氏  
合同会社 Yello 代表 佐藤 リッキー氏  
Shizuka Tatsuno Studio 代表取締役 辰野 しずか氏
- 成果発表者：
  - 《第1部》第1期生  
名尾手すき和紙(株) 谷口弦氏、鍋島虎仙窯 川副隆彦氏、  
鶴屋菓子補 堤一博氏
  - 《第2部》第2期生  
(株)蔵出しめんたい本舗(株) 古川千夏氏、(株)川原食品 川原啓秀氏、  
(有)篠原溪山篠原祐美子氏
- 参加者：231名（県内、県外）

## (9) 県産品ブランド化プロデュース力向上事業[19,142,055円:佐賀県委託事業]

《担当部署：経営改善支援課》

県内メーカー等の人材について、経営診断・分析から、ブランド構築、商品企画開発、ターゲットに応じた伝え方・情報発信の手法までの全工程を一貫して担うことができるよう、スクール開講等により能力向上を図った。

### 【スクール概要】

- ①名称：コト・ミチ人材育成スクール
- ②開催状況：

回	テーマ	開催年月
第1回	会社を診断する	平成30年6月16日
第2回	ブランドをつくる①	平成30年8月4日
第3回	ブランドをつくる②	平成30年8月18日
第4回	商品をつくる	平成30年9月1日
第5回	コミュニケーションを考える	平成30年9月29日
第6回	ふりかえり、プレゼン、総評	平成30年10月27日

- ③受講者数：29名（県内28名、県外1名）
- ④受講者負担金額：県内75,000円、県外150,000円
- ⑤当スクールにおける成績優秀者には、さが土産品開発支援推進事業にお

ける企業コンサルティングの現場に同行し、実践経験の場を提供した。

【レビュー会】

○前年度受講生へのフォローアップを実施

参加者 19名

開催日 平成30年7月30日

・現状報告や相談したいことなどを事業者が発表し、中川政七氏が講評。

(10)産学官共同研究コーディネータ事業 [5,632,361円:佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発振興課》

新技術の開発や新産業の創出を促進するため、県内企業のニーズと大学・公設試等のシーズをマッチングするコーディネータを配置し、産学官の共同研究等を支援した。

ア コーディネータ活動実績 合計 延べ1,074件(90社)

【内容】

・技術相談	25件
・プロジェクト・補助金相談	412件
・プロジェクト推進	259件
・シーズ及びニーズ調査	183件
・その他	195件

【業種別内訳】

・ものづくり	74社
・バイオ	2社
・建設	3社
・情報	5社
・サービス	6社

イ 共同研究の企画・立案(企画提案支援) 合計 19件

・戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)	2件
・ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金	3件
・さが中小企業応援基金事業	2件
・基礎研究等助成事業	4件
・地域未来牽引企業	4件
・第102回新技術開発助成(平成30年度第2次)	1件
・第8回ものづくり日本大賞	3件

(11) 産学官連携技術革新支援事業 [5,287,010円：佐賀県補助事業]

《担当部署：研究開発振興課、知財支援室》

ア 基礎研究開発助成事業 採択1件 《担当部署：研究開発振興課》

地域特性を活かした県内企業の新製品開発や技術革新を促進するため、新製品・新技術開発に取り組む県内中小企業に対して、医療や健康分野などの国の成長戦略に示された分野等を特定分野、それ以外を一般分野に区分し、基礎研究・応用研究及びそれに続く実証・実用化研究について補助した。

事業名	企業名	共同研究機関	事業計画のテーマ	補助確定額(円)
基礎研究 応用研究 1件	株式会社ワイビーエム	佐賀県工業技術センター	地盤調査を省力化するためのワイヤーライン削孔方法の導入に関する基礎研究	1,698,000
合 計				1,698,000

イ 研究会活動事業

《担当部署：研究開発振興課》

○医工連携研究会

新たな成長分野として注目されている医療機器分野への参入を促すため、医療従事者と中小企業者等で構成する「医工連携研究会」を開催し、医療現場が抱える課題・ニーズと企業等の技術シーズのマッチングが進むよう、研究会活動の支援を行った。

①佐賀県臨床工学会への参加

日程：平成30年7月15日(日)

会場：アバンセ 1階 企業展示会場、ホール

主催：一般社団法人佐賀県臨床工学技士会

概要：(一社)佐賀県臨床工学技士会が主催した第11回佐賀県臨床工学会の中の「企業招待学会ツアー」に、佐賀県医工連携研究会会員企業・関係企業が参加し、県内臨床工学技士や医療機器メーカーとの交流を行った。

参加企業：3社

ウ 知財ビジネスマッチング支援事業

《担当部署：知財支援室》

特許流通コーディネーターを配置し、県内中小企業への知的財産に関する普及啓発を行うとともに、技術移転等の支援により新技術・新商品開発の推進を図った。

大手企業が保有する「開放特許」を活用して新製品開発や新事業展開等へと繋げるため、知財ビジネスマッチングセミナーを開催して、県内中小企業に対し、大企業の開放特許の紹介や個別面談機会を提供して支援を行った。

(ア) 企業訪問等による支援

○特許流通コーディネーター1名を配置し、特許流通支援事業、特許等情報提供事業、指導・相談等を行った。

○支援件数 延べ 139件

(イ) 知財マッチングセミナーさが2018の開催

○開催日：平成30年11月21日

○開催場所：グランデはがくれ

○講演内容：

講演Ⅰ 「知財活用のおすすめ」

経済産業省特許庁普及支援課 産業財産権専門官

鈴木 貴久氏

講演Ⅱ 「大企業等による開放特許技術紹介」

富士通(株)、九州電力(株)、佐賀県窯業技術センター、佐賀県工業技術センター

○参加人数：62人

(ウ) 大企業等と県内企業との個別面談会の開催

○上記セミナーと並行して、富士通(株)、九州電力(株)、佐賀県窯業技術センター、佐賀県工業技術センターとの個別面談会を実施。

○参加企業：7社

**(12) さが機能性・健康食品開発拠点事業 [42,671,246円：佐賀県補助事業]**

《担当部署：研究開発振興課》

県内において、付加価値の高い新産業（機能性食品・化粧品分野）の創出・集積を図るため、県内中小企業等が行う新製品・新技術開発を支援した。また、3名の新産業創出研究員により、基盤的な研究開発や企業からの依頼分析等を行った。

**ア コーディネート事業**

2名のコーディネーターにより、企業ニーズの掘り起し、研究者シーズとのマッチング、共同研究支援から新商品企画までつながるコーディネート活動事業を行った。

・企業訪問等 433件、相談101件（技術、補助金等の相談）

**イ 情報提供活動**

事業普及シンポジウム等の開催 3回 （延べ134名が参加）

① 平成30年7月31日

セミナー「～地域素材から生まれる健康と美～」

「上手に使おう！「機能性表示食品」～あらたな機能性表示制度について～」

講師：一般社団法人健康食品産業協議会 小田嶋 文彦氏

② 平成 30 年 11 月 22 日

セミナー 「地方発！「溶けない!?アイス」誕生物語」

「急成長！イチゴの成分生かした『金座和(かなざわ)アイス』」

講師：株式会社バイオセラピー開発研究センター

代表取締役 豊田 剛史氏

③ 平成 31 年 3 月 5 日

シンポジウム

「うちのみかんは機能性あり～個人農家 3 人組の挑戦～」

講師：瀧本農園 瀧本 雅史 (和歌山県日高郡日高川町)

森隆農園 森 幹也 (和歌山県日高郡日高川町)

和歌山県 農林水産部 農業生産局 果樹園芸課

主査 戸中 希氏

## ウ トライアルユース補助事業

県内中小企業等が「さが機能性・健康食品開発拠点」等を利用し、機能性・健康食品の開発に取り組みやすくなるよう、初期段階の研究に係る経費の一部を補助した。

太良町産桑の実等のアントシアニン総量の含有量分析

甘酒の糖組織分析及び菌の分析・検証

① 太良産みかん甘酒のヘスペリジンの効果に関する分析・検証

・事業者名：(株)タララボ

・確定額：30,000 円

・補助期間：平成 30 年 8 月 9 日から平成 31 年 2 月 28 日まで

・研究概要

太良町産桑の実等のアントシアニン総量の含有量分析を佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い、新産業創出研究員が測定した。また、佐賀大学農学部に依頼し、甘酒の糖組織分析及び菌の分析・検証を、第一薬科大学に依頼し、太良産みかん甘酒のヘスペリジンの効果に関する分析・検証を行った。

② 佐賀市富士町産そばの芽の有効成分の分析

・事業者名：友田農園

・確定額：205,000 円

・補助期間：平成 30 年 8 月 9 日から平成 31 年 2 月 28 日まで

・研究概要

友田農園で栽培したそばの芽を使い、そばの芽の有効成分の分析を佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い、新産業創出研究員が行った。また、日本食品分析センターに依頼し、葉酸と食物繊維の分析を行った。

③ 佐賀県唐津市産白色アラゲキクラゲの保湿維持性、乳化作用等に関する試験及びその効果の検証

- ・事業者名：農業生産法人グレイスファーム株式会社
- ・確定額：291,000円
- ・補助期間：平成30年9月12日から平成31年2月28日まで
- ・研究概要

白色アラゲキクラゲ粉末試料の物性値及び乳化特性について佐賀県工業技術センター食品工業部の分析機器を使い、新産業創出研究員が行った。また、物性効果確認のため、白美茸パウダーを用いた試料による試験を西九州大学において実施した。

#### エ 農林水産物・食品等の機能性研究に係る予備的研究等助成事業

大学等研究機関に地域資源の機能性等に関する予備的研究を助成した。

- ・研究者：佐賀大学農学部 鈴木章弘教授
- ・テーマ：「微生物共生による薬用植物カンゾウのグリチルリチン酸生産の活性化」
- ・助成額：1,000,000円
- ・助成期間：平成30年8月10日から平成31年2月28日まで

#### オ 機能性表示食品届出支援事業

県内事業者による消費者庁への機能性表示食品届出に係る必要な経費の一部を補助した。

- ・商品名：「ミヤジマ紫黒米酢」
- ・事業者名：宮島醤油(株)
- ・確定額：システムティックレビュー作成 150,000円  
届出書類作成費用 100,000円

#### カ 商品化・事業化

事業者名	商品名	販売開始時期
農業生産法人グレイスファーム(株)	白美茸粕漬け 葉わさび入り	平成30年8月
えがちゃん農園	はねにんにくオイル 辛味	平成30年11月
(株)種商	血圧サポート GABA 国産十六穀米	平成30年11月
(株)丸岡青果	レモンリップバーム	平成31年2月

**(13) 戦略的基盤技術高度化支援事業 [57,960,927円：国・補助事業]**

《担当部署：研究開発振興課》

国の競争的資金である当該事業に対し、新製品・新技術を志向する県内中小企業等からの申請、共同研究体制の構築等への支援を行ない、採択後の研究開発の推進及び事業管理を行い、研究の製品化から事業化支援までの一貫支援を行った。

**【支援事業】**

地盤改良工事での安心安全な改良杭施工のための比抵抗計測技術を用いた着底・混合判断システムの研究開発

○事業期間：平成28年度～平成30年度（3年間）

○総事業費：71,230千円（国補助金）

○実施体制：

- ・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター
- ・研究実施者（株）ワイビーエム、（株）ワイシステムサポート、（国法）九州大学、（国法）佐賀大学

**ア 事業概要**

目に見えない地盤の工事において、杭が既定の支持層まで到達したかを把握することが難しい。

そこで、杭が既定の支持層まで到達したかの「着底判断」と、改良杭を作る際に、セメントと土の混合状態を確認する「混合判断」の課題に対して、工事中、リアルタイムに判断を行うことが可能となるシステムを研究開発する。従来技術と比較して信頼性が高く、コストや時間がかからない新システムの事業化を目指す。

**イ 研究成果**

比抵抗計測ユニット（共回り防止翼、計測基板）の製作及び試験を実施。地盤の比抵抗を計測し、着底用と混合判断用の2種類の比抵抗を計測した。共回り防止翼から地上受信装置への伝送を行うための送信基板、受信基板、最適な周波数を検討し、伝送距離30mを達成した。

また、施工後のコアから強度発現時間短縮のための試験方法も開発した。

**【支援事業】**

レーザ光高速走査・加工除去物の効率換気・搬送シートの連続加工によるエアバックの生産コスト低減を目的としたエアバック用シートのレーザ裁断装置の開発

○事業期間：平成30年度～令和2年度（3年間）

○総事業費（予定）：96,524千円（国補助金）

○実施体制：

- ・事業管理者（公財）佐賀県地域産業支援センター

- ・研究実施者 武井電機工業(株) (国法) 佐賀大学、佐賀県工業技術センター

#### ア 事業概要

従来のエアバッグの裁断工程は、製品形状に沿ってレーザー出射部を走査し加工する。機械的な動作ではレーザー光の高速走査が困難で、処理能力を確保するため重ねて裁断する。そのため前後に重ねたり剥がしたりと人の作業を要し、オートメーション化できない。そこで、レーザー光の光学的な高速走査により搬送されるシートを裁断する技術を確認し、ロール状のシート原反から自動で製品形状のシートを連続的に生産する加工機を開発する。

#### イ 研究成果

- ・レーザー光学系の設計等裁断装置の基本仕様を作成し、調査・検討を実施した。
- ・裁断面の評価方法を検討し、品質を定量的に評価する方法を決定した。
- ・気流制御技術について、初期実験装置を用いて、基本データの取得を行う。

#### (14) 佐賀県海外事務所設置・運営事業 [25,777,510円：佐賀県補助事業]

《担当部署：総務企画課》

国際化推進のために、佐賀県と連携して香港に設置した海外事務所の活動及び管理運営を行った。

これにより、県内中小企業の海外展開の支援が実現できた。

#### (15) 佐賀県海外事務所活動受託事業 [14,390,204円：佐賀県受託事業]

《担当部署：総務企画課》

中国に設置している海外事務所（香港）において、地域産業の発展に資する様々な国際関連の取組を現地で実施した。

##### 1. 企業取引支援

- ① 産業系見本市、博覧会へ出展し、佐賀県ブースを設置するなどにより効果的なPRを図った。
- ② 海外展開を図る県内企業に対し、現地活動の支援や現地で収集した市場動向、ビジネス可能性、その他所要の情報について適宜提供するとともに、相談内容に応じて適切な機関・団体等の紹介を行った。

##### 2. 県産品の輸出促進・販路開拓

- ① 有田焼等の焼物、工業製品、加工食品などの県産品について、現地百貨店バイヤーや輸入業者等、さらには消費者に対しPR活動を行った。

- ② 現地百貨店バイヤーや輸入業者等から得た有益な情報を県内中小企業等に提供するなど、輸出促進のための支援を行った。
- 3. 外国人観光客誘致促進  
旅行会社やメディアとタイアップした観光客の誘致活動を行った。
- 4. 現地関係機関等からの情報収集及び収集した情報の提供  
現地の政府機関や民間機関、さらには日本人や日系企業などによる任意団体などから、県内企業等からのニーズをふまえて様々な現地情報を収集し、県内企業等へ提供した。
- 5. 情報発信  
ホームページの活用による上記に関する情報発信を行った。

## 2 取引先拡大支援・人材育成支援及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援（公2）

### 【事業の趣旨】

県内中小企業の振興を図るため、設備投資、取引先拡大、人材育成及び情報提供による経営基盤の強化に関する支援を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

本事業は、次の5事業から構成される。

- (1) 取引拡大事業
- (2) 現場力向上支援事業
- (3) 知財総合支援窓口運営事業
- (4) 中小企業等外国出願支援事業
- (5) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業

### 【公2個別事業の内容】

#### (1) 取引拡大事業

[17,540,099円：佐賀県補助事業]

《担当部署：取引振興課》

県内機械金属製造業・自動車関連企業を中心とした下請中小企業に対する受発注取引のあっせんを行った。また、受注機会の拡大、新規取引先の拡大のため、見本市等への製品・加工技術の展示の支援や当財団単独又は九州地区各支援機関等と共同して商談会を開催し、取引の拡大を支援した。

#### ア 取引あっせん状況

登録企業数		申出件数		あっせん 件数	取引成立 件数	当初成立金額 (千円)
発注	受注	発注	受注			
262 (0) ※	717 (5) ※	199	371	371	68	77,537.52

※ ( ) 内は、平成30年度の新規登録企業数

イ 平成31年版受注企業名簿作成：写真掲載版 400部

ウ 発注開拓調査 年2回（九州合同）

#### エ 展示会・商談会の開催

(ア) 展示会出展支援 5回（出展企業 延べ23社）

- ・「第22回機械要素技術展」 (平成30年6月、東京都江東区)
- ・「中小企業テクノフェア in 九州2018」 (平成30年10月、北九州市)
- ・「モノづくりフェア2018」 (平成30年10月、福岡市)
- ・「メッセナゴヤ2018」 (平成30年11月、名古屋市)
- ・「第23回機械要素技術展」 (平成31年2月、東京都江東区)

- (イ) 商談会開催・参加支援 12回 (県内参加企業 延べ135社)
- ・「製造技術マッチングフェア」 (平成30年6月、北九州市)
  - ・「デンソーグループ向け展示商談会」 (平成30年8月、愛知県刈谷市)
  - ・「九州自動車部品現調化促進商談会」 (平成30年10月、福岡市)
  - ・「九州7県合同広域商談会」 (平成30年11月、名古屋市)
  - ・「第1回佐賀県受発注商談会」 (平成30年12月、佐賀市)
  - ・「佐賀県 企業展示会in ダイハツ九州(株)中津工場」 (平成31年1月、中津市)
  - ・「九州新技術・新工法展示商談会 in ホンダ鈴鹿製作所」 (平成31年1月、三重県鈴鹿市)
  - ・「第5回 佐賀・福岡ビジネス交流会」 (平成31年2月、福岡市)
  - ・「久留米広域商談会」 (平成31年2月、久留米市)
  - ・「九州カーエレクトロニクス展示商談会 in 刈谷」 (平成31年2月、愛知県刈谷市)
  - ・「第2回佐賀県受発注商談会」 (平成31年3月、佐賀市)
  - ・「受注企業提案型商談会」 (平成31年3月、大牟田市)

#### オ 下請かけこみ寺事業

下請取引に関する様々な問題を抱える県内中小企業者等の相談に応じ、問題解決に向けてのアドバイス等の支援を行うとともに、「下請振興法」、「下請代金等遅延防止法」等の周知や、「下請かけこみ寺事業」の周知活動を行った。

- ・相談件数 21件 (延べ21回のうち無料弁護士相談5回)

#### (2) 現場力向上支援事業

[22,677,934円：佐賀県補助金]

《担当部署：ものづくり振興課》

県内中小企業の現場力向上や生産性の向上等を目的に、4名のトレーナー(専門員)が企業を訪問し、現場改善に対する実地の支援や、県内中小企業全体の底上げのため、専門的なセミナーの開催や先進企業の工場見学、更に、経営安定のため新規取引先のマッチング活動支援を行った。

マッチング活動を除き、「佐賀県中小企業塾」として実施した。

#### 《活動成果の概要》

- ① 4名のトレーナーによる支援先11社の支援内容。

	支 援 先	支 援 内 容
1	A社(電気機器組立)	生産性向上活動(ハーネス組立工程)
2	B社(リサイクル加工)	生産性向上活動(アルミせん断工程)
3	C社(樹脂成形加工)	生産性向上活動(ブロー成型工程)

4	C社（樹脂成形加工）	I S O 9 0 0 1 2 0 1 5 年版認証取得完了
5	D社（建設業）	I S O 定期監査対応方法の教育
6	E社（塗装加工）	I S O 9 0 0 1 2 0 1 5 年版認証取得完了
7	F社（切削加工）	I S O 9 0 0 1 2 0 1 5 年版移行支援
8	G社（プレス加工）	生産性向上活動（プレス工程）
9	H社（切削加工）	現場改善活動（T P M活動）
10	I社（プレス加工）	現場改善活動（不良低減活動）
11	J社（樹脂金型加工）	MZプラットフォーム導入支援

- ② 4名のトレーナーによる若手経営者・後継者教育のための「経営者塾」を実施。

※企業名の後に（経）は経営者、（後）は後継者が参加

	支 援 先	支 援 内 容
1	A社(プレス加工) (経)	若手経営者・後継者を対象に、経営者として身につけるべき経営知識を学ぶ。 具体的には事業計画作成、中長期計画作成、PDCAサイクル、計画未達時の挽回策などの手法を学ぶ。 ○年間14回の実習を交えた研修会を実施。 ・第1ステップ 経営課題の分析 ・第2ステップ 具体的な対策 ・第3ステップ 進捗状況の確認 ・第4ステップ 成果報告、挽回策 など
2	B社(紙加工) (経)	
3	C社(機械商社) (経)	
4	D社(切削加工) (経)	
5	E社(洗浄機メーカー) (経)	
6	F社(切削加工) (経)	
7	G社(プレス加工) (後)	
8	H社(切削加工) (後)	
9	I社(板金加工) (後)	

- ③ 「現場力向上」のために実施した9回のセミナーの内容。

	テ ー マ	講 師	内 容	参加者
1	A I ツール活用セミナー H30.5.30	I T C 西九州	中小企業が取り組むA I の方向性を学ぶ。	6名
2	なぜなぜ分析セミナー H30.6.14	クオリゲート	プロセス改善のためのなぜなぜ分析手法を学ぶ。	50名
3	製造現場の見える化セミナー H30.7.26	ウェブアイ	I T ツールを活用した工程計画の作成方法を学ぶ。	11名
4	研究開発型補助金セミナー H30.8.28	中小企業基盤整備機構	サポイン事業を事例とした研究開発型補助金の活用方法を学ぶ。	20名

5	営業力強化セミナー H30.9.18	マルワ什器	提示会出展に際し、成果をあげるための実践ポイントを学ぶ。	12名
6	事業活動とISOセミナー H30.10.23	当財団専門員	ISOの要求事項を理解し事業活動と連動した運用を学ぶ。	23名
7	溶接セミナー H30.12.20	パナソニックスマートファクトリーソリューションズ <sup>®</sup>	最新の溶接技術や溶接ロボットについて学ぶ。	40名
8	原価低減セミナー H31.1.17	元豊田合成	トヨタ生産方式による徹底したムダ廃除による原価低減手法を学ぶ。	52名
9	会社経営セミナー H31.2.19	当財団マネージャー	強い会社とは何か、仕事のムダとは何かなど、経営の考え方を学ぶ。	22名

④ 2名のトレーナーによるマッチング活動2件の新規受注内容。

	発注企業	受注企業	内 容	金額 (千円)
1	A社	B社 (板金加工)	装置フレーム溶接	67
2	C社	D社 (板金加工)	構内作業	900
	合 計			967

### (3) 知財総合支援窓口運営事業 [38,256,783円：国機関等からの請負事業]

《担当部署：知財支援室》

中小企業等の知的財産に関する課題等の相談を受け付ける「知財総合支援窓口」において、商工団体、金融機関等との連携のもと、窓口支援担当が知財専門家（弁理士等）と協働するなどして、特許等の取得や活用に関する支援を行った。

○窓口支援担当者5名、事業責任者1名、副責任者1名、事務担当者1名

○支援件数 延べ 2,923件

知財トータルサポーターによる支援

- ・窓口での支援（地域産業支援センター内での支援） 1,503件
- ・訪問による支援（企業等での支援） 824件
- 専門家(弁理士、弁護士等)を活用した支援 596件

○知財区分別（2,923件）

商標 1,647件（56%）、特許 850件（29%）、実用新案 50件（2%）、  
意匠 135件（5%）、その他 241件（8%）

- 相談者種別（2, 923件）
  - 中小企業 1,839件(63%)、個人事業主 636件(22%)、個人 109件(4%)、  
その他 339件(11%)
- 業種別（2, 923件）
  - 製造業 1,201件(41%)、農林水産業 532件(18%)、  
卸・小売業 334件(12%)、その他 856件(29%)

**（4）中小企業外国出願支援事業 [2,316,000円：国補助事業]**

《担当部署：知財支援室》

外国への事業展開等を計画している県内中小企業の特許等外国出願に対して支援を行った。

- 支援件数 12企業（特許1件・商標13件）
- 補助割合 出願に要する経費（出願料、代理人費用、翻訳料等）の1/2以内
- 補助限度額 1出願につき、特許150万円、意匠・商標等60万円など。  
（最大で1企業300万円まで）

支援企業名	出願内容	出願件数	補助金額（円）
(有)古伊万里酒造	商標出願	1件	56,000
(株)まるきん	商標出願	1件	147,000
吉田刃物(株)	商標出願	1件	139,000
いづみやコーヒーロースターズ(株)	商標出願	1件	68,000
サガ電子工業(株)	商標出願	2件	318,000
(株)キハラ	商標出願	1件	62,000
いづみやコーヒーロースターズ(株)	商標出願	1件	74,000
レグナテック(株)	商標出願	2件	256,000
(株)サガンベジ	商標出願	1件	119,000
(有)柳屋	商標出願	1件	43,000
(株)イマリ	特許出願	1件	931,000
(株)キーストン	商標出願	1件	103,000
計12企業		計14件	2,316,000

**(5) 佐賀県地域産業支援センター施設貸与事業 [6,342,381 円：佐賀県受託事業]**

《担当部署：総務企画課》

佐賀県地域産業支援センターの指定管理者として、設置目的である技術の高度化、経営の効率化等企業の事業活動に対する支援に資するため、経費節減や利用者の満足度向上等に配慮しながら、管理運営を行った。

**ア 研修室貸出**

・第1研修室利用承認件数	138件
・第2研修室利用承認件数	105件
計	243件

**イ 研究開発室貸出**

・入居審査会開催件数	0件
・入居貸出件数（年度末時点）	2件

**ウ ビデオ貸出**

・ビデオ貸出	111巻
--------	------

### 3 県内中小企業の福利厚生充実を促進し、人材確保や定着化を図るとともに従業員の健康増進に関する支援（公3）

#### 【事業の趣旨】

県内中小企業の人材確保や定着を図るとともに、従業員の健康増進等に資するため、中小企業単独では実施が困難な福利厚生事業について、そのスケールメリットを生かして、県内中小企業の福利厚生充実を促進し、健康増進、自己啓発、余暇活動等総合的な福祉サービスを提供する。

なお、事業の実施に当たっては、効率的な事業運営のために、「会員」制度を採用し、一定額の運営負担金と会費の納入によりサービスを提供している。

#### 【公3個別事業の内容】

##### （1）中小企業勤労者福祉サービスセンター事業

【34,462,405円：受取会費、佐賀県・県内市町・事業所負担金】

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

##### ①会員の状況

平成31年3月末時点で、事業所数272社、会員数2,631名であり、昨年度末の事業所数268社、会員数2,535名に比べ、事業所数4社、会員数96名の増となった。

##### ②事業実績

今年度の利用者数は9,790人（昨年度比676人増）、助成金額17,498千円（前年度比1,386千円増）と共に増加した。

#### ア 健康増進事業

会員の健康を増進するため、人間ドック・脳ドック・一般健診にかかる費用等に助成を行った。

特に、全国的に猛威をふるったインフルエンザ予防接種の助成は、前年度を上回る652名に対し助成を行った。

助成者数延べ1,107人、助成額3,392千円

#### イ 自己啓発事業

会員の自己啓発を支援するため、自己啓発にかかる費用等に助成を行った。

また、各施設を訪問し、サービスセンターの事業内容等を説明し、自己啓発事業を積極的に支援していることのPR活動を行った。

助成者数1人（カルチャーセンター受講料）、助成額5千円

## ウ 余暇活動事業

会員等の余暇活動を支援するため、宿泊施設やレジャー施設等の余暇活動にかかる費用等に助成を行った。

助成者数延べ5, 581人、助成額9, 260千円

## エ その他事業

野球観戦や食事券等の格安価格での販売、旅行割引等を行った。

利用人数および助成額共に、前年度を上回ることができ、徐々に会員に浸透していることの確認をすることができた。

助成者数延べ3, 101人、助成額4, 841千円

#### 4 県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活を安定させるための支援（他1）

##### 【他1個別事業の内容】

##### （1）共済給付事業

[5,668,200円：受取会費]

《担当部署：中小企業勤労者福祉サービスセンター》

会員である県内中小企業の事業主及び当該企業に勤務する従業員の在職中の生活安定を図るため、（一財）全国勤労者福祉・共済振興協会の共済制度を活用し、会員への各種慶弔給付を行った。

- ①会員数166社、1,612名（平成31年3月末現在）
- ②給付件数425件、給付額5,191千円

## 5 地域産業の高度化・新産業の創出、科学技術の振興を図るために企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究に関する支援（公4）

《担当部署：九州シンクロトロン光研究センター》

### 【事業の趣旨】

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター（以下「研究センター」という。）の指定管理者として施設を運営し、企業や大学等が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究支援を行うことにより、地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与することを目的とする。

### 【公4個別事業の内容】

#### （1）佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター運営事業

[546, 467, 794 円:佐賀県委託事業等]

#### ア 施設貸与・利用支援

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、実験研究施設・設備を用いた利用支援を通じて、企業、大学、公的研究機関が行うシンクロトロン光（放射光）を利用した研究開発への支援を行った。

企業や大学等の利用に供する県有ビームラインについて、利用者に対して支援を行う他、測定装置の充実等によって利用環境を拡充するとともに、企業や大学の若手研究者を対象としたセミナーを開催するなど、利用促進を図った。併せて、他機関ビームラインについても各種の支援を行い、利用促進を図った。

このことにより、県有ビームラインの利用実績は、146件 2910.5時間となった。

○利用内訳 件数：企業 59件、大学 66件、公設試 21件

時間：企業 972.0時間、大学 1446.0時間、公設試 492.5時間

○利用種別

種別	件数	時間数
電子デバイス	46	1027.00
素材・原料	39	864.00
資源・環境	19	300.50
ディスプレイ	10	218.50
農林水産・食品	10	129.00
バイオメディカル・健康	8	129.00
エネルギー	8	119.50
微細加工	3	39.50
その他	3	83.50
合計	146	2910.50

## イ シンクロトロン光の研究・普及

「地域産業の高度化、新産業の創出及び科学技術の振興に寄与する」ため、シンクロトロン光（放射光）の光源とその利用に関する研究開発を行い、利用支援の展開につなげた。

具体的には、光源加速器やビームライン設備の性能向上や測定技術開発等のための試験研究、産学官の各機関との共同研究、科学研究費補助金等の競争的外部資金を用いた研究を行った。

また、研究成果を利用支援につなげるとともに、研究成果報告会、ホームページ、論文及び学会等での発表を通じて積極的に発信した。

さらに、研究スタッフの研修や技術交流の面でも、関係施設との連携を図った。

### ○シンポジウム・学会等

- ・第12回九州シンクロトロン光研究センター研究成果報告会  
(ホテルグランデはがくれ 参加者 93名)
- ・第32回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム参加  
(福岡国際会議場 参加者 823名)

## ウ 情報発信等

施設の一般公開、学校見学、各種展示会への出展等を通じて、施設の紹介や最先端の科学技術の紹介を行った。

また、インターンシップや職場体験を受け入れ、未来を担う若者の就業体験を支援した。

### ○利用普及・広報、施設見学等

- ・一般公開 (参加者 405名)
- ・施設見学 (参加者 872名)
- ・サマースクール 2018 (大学院・企業等の若手研究者 参加者 5名)
- ・地域戦略利用意見交換会 (県内公設試 参加者 29名)
- ・nano tech 2019 出展
- ・九州カーエレクトロニクス展示商談会 出展
- ・関係団体会員等への施設PR (佐賀工業会、SPring-8、サンビーム)
- ・企業利用支援セミナー (県内企業 3回 参加者 73名)
- ・九州・沖縄産業技術オープンイノベーションデー 出展
- ・SAGAものスゴフェスタ 2018 出展 (参加者 477名)
- ・産業技術総合研究所九州センター一般公開 出展 (参加者 144名)
- ・鳥栖市明治維新150年祭 出展 (参加者 209名)
- ・Web Magazine 発行 (3回)
- ・インターンシップ受入 (鳥栖商業高校:1名)、職場体験受入 (唐津東中学校:1名)

## (2) 先端研究基盤共用促進事業

[1,567,500円：文部科学省委託事業]

大学、独立行政法人等の研究機関等が有する先端研究施設（シンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関）で構成される「光ビームプラットフォーム」に参画し、全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。

- 光ビームプラットフォーム運営体制の構築  
    広報活動等（光ビームプラットフォームのホームページ運営）への協力
- 各施設による利用支援  
    研究成果報告会及び nano tech 2019 での利用事例の紹介など
- ワンストップサービスの設置・運営  
    積極的な他機関の斡旋紹介
- 人材育成  
    光ビームプラットフォームシンポジウム 2019 の参加 など
- ノウハウ・データの蓄積・共有、利用システムの標準化、技術の高度化に向けた利用支援  
    標準試料のデータ収集実験への参加 など

## 6 農林水産物、加工食品等県産品の販売強化や販路開拓に関する支援事業（公5）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

地域産業の振興を図るため、県産品（農林水産物、加工食品等）を扱う県内中小・零細事業者等を支援して県産品の販売促進を行うことを目的としている。

### 【事業の構成】

本事業は次の10事業から構成される。

- (1) 県産品情報発信力強化事業
- (2) 佐賀のよかもんリレーションシップづくり事業
- (3) 原産地呼称管理制度運営事業
- (4) 大都市圏販売強化支援事業
- (5) 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業
- (6) 海外市場における佐賀ブランド確立事業
- (7) Oishii!SAGA 輸出チャレンジ支援事業
- (8) 佐賀ん酒ブランド化支援事業
- (9) 物産振興支援事業
- (10) 佐賀空港における県産品のPR・販売促進及び観光情報発信事業

### 【公5個別事業の内容】

#### (1) 県産品情報発信力強化事業 [14,781,906円／佐賀県補助事業]

佐賀県産品の認知度および評価向上を図るため、HPやSNS、メディアを活用した情報発信を行った。

##### ① HPやSNSなどを活用した情報発信

SNS「ごちそう佐賀」からSNS「さがぴん」にリニューアル。フォロワーは1.1万人を超えた。

##### ② メディア露出の獲得に向けた効率的なイベント

佐賀ん酒の魅力の情報発信を目的にイベントを実施

・4/1～22、SAKURA CHILL BAR in 佐賀（来場者延べ973名）

・3/22～31、SAKURA CHILL BAR by 佐賀（来場者延べ2,526名）

##### ③ バイヤーや消費者の興味関心を引き出すための商談会や販売会

11月1～5日に、2018佐賀インターナショナルバルーンフェスタ「うまかもん市場」において、事業者14者によるPR販売を行った。

また、11月12日に太良町まえうみもん試食会を実施し、旅館、飲食店、バイヤー等16名の参加があった。

## (2) 佐賀のよかもんリレーションシップづくり事業

[6, 134, 145 円／佐賀県補助事業]

佐賀県産青果物の継続的かつ安定・向上的な取引を図るため、試食宣伝販売、意見交換会の実施及び産地招聘を実施した。

- ① 澤光青果の店舗にて、旬の青果物の試食宣伝販売を開催  
(7月から3月までに延べ98回開催)
- ② 澤光青果や東京青果の担当者との意見交換会を2回開催  
(10月13日、3月2日)
- ③ 澤光青果の仕入担当者及び東京青果担当者を産地に招聘  
(12月4日～12月5日)

## (3) 原産地呼称管理制度運営事業 [4, 054, 408 円／佐賀県補助事業]

佐賀県原産地呼称管理制度に基づいて認定された純米酒・本格焼酎である「The SAGA 認定酒」の認知度向上・普及拡大のため、試飲会等のイベント及び酒質向上に向けた研究会を実施した。

- 東京での試飲会開催 (6月：123名参加)
- 大阪での試飲会開催 (7月：397名参加)
- 佐賀酒で乾杯プロジェクト (10月：7,232名参加)
- 吟醸酒研究会 (5月：19名参加)

## (4) 大都市圏販売力強化支援事業 [37, 224, 350 円／佐賀県補助事業]

県産加工食品の大都市圏への販路開拓・拡大を図るため、県内事業者の企画力や商品開発力の向上、並びにマッチング支援、新たなチャンネル開拓、営業活動支援などを行った。

- ① 各種セミナーを開催し、県内加工食品メーカーのスキルアップを図った。
  - 「食品の戦略的販路開拓セミナー」  
(5月開催：47社・団体61名参加)
  - 「販路別セミナー」および「個別相談会」  
(計5回開催：延べ48社参加)
  - 「食品表示セミナー」及び個別相談 (11月開催：計221名参加)
- ② 県内加工食品メーカーと小売・卸のバイヤー等の商談機会を提供した。
  - 佐賀県特産品商談会  
(9月開催：107社出展、191社・439名来場)
  - スーパーマーケット・トレードショーでの県ブース出展  
(2月：23社出展)
- ③ 各種フェア・イベントの開催  
大消費地である都市圏の百貨店や量販店等で佐賀県フェアを開催し、試食販売などのPR活動を実施した。
- ④ 食品卸売企業への提案  
問屋(卸売企業)の機能(営業・商品管理・物流等)を活用した県産

品の提案、商談活動を行い、県内事業者の営業活動を支援した。

## (5) 県産品海外リサーチ・アンド・トライ事業

[8,060,238円/佐賀県補助事業]

県産品の海外への販路拡大を図るため、海外バイヤーの招へいや新規市場調査を行った。

### ① 佐賀県産品中国販路拡大支援事業の実績

- 現地モニタリング（5月）  
加工食品について、SIAL 上海への出展及び市場調査を実施した。
- テスト販売（9月）  
加工食品について、大連日本商品展示会に出展し、販売を行った。
- 県内企業商品の商品コンサルティング（11月～12月）  
加工食品について、中国向けパッケージの制作を行った。

### ② 新規市場調査等の実績

- 韓国市場調査、日本酒PRイベント参加（8月実施：1回・酒）
- 中国水産物市場調査（11月実施：1回・水産物）
- 中国加工食品・日本酒市場調査（11月実施：1回・加工食品、酒）
- フィリピン日本酒市場調査、輸入卸業者訪問（12月実施：1回・酒）
- ブラジル市場調査、日本酒イベント参加（2月実施：1回・酒）
- EU市場調査、輸入卸業者訪問（2月実施：1回・酒）

## (6) 海外市場における佐賀ブランド確立事業

[2,588,436円/佐賀県補助事業]

香港初の佐賀厳選食材を扱うレストラン「佐楽」において、飲食関係者、メディア関係者などを招待して、県産品のPR商談会を実施した。

なお、商談会と個別営業の相乗効果により、2件の継続的な取引につながった。

- 佐賀酒PR商談会（7月31日開催）  
県内蔵元12社参加、香港内の高級レストランオーナー、シェフなど約70名来場。
- 佐賀ディナー商談会（7月31日開催）  
県内蔵元6社参加、香港内の高級レストランオーナーなど30名来場。
- 食品PR商談会（8月1日開催）  
県内食品メーカー7社参加、香港内の高級レストランオーナーやホテルのバイヤーなど約50名来場。

**(7) Oishii ! SAGA 輸出チャレンジ支援事業**

**[12, 169, 980 円／佐賀県補助事業]**

県内加工食品事業者の輸出に向けたチャレンジを支援し、県内事業者の輸出機運を醸成するとともに、県産加工食品の磨き上げと海外市場における販路拡大を図った。

- 県内企業が実施する海外営業活動への同行出張：2回  
食品グローバル研究会の開催：2回
- Oishii ! SAGA 輸出チャレンジ支援事業費補助金採択事業者数：26社

**(8) 佐賀ん酒ブランド化支援事業**

**[6, 345, 895 円／佐賀県補助事業]**

佐賀県酒造組合が実施するフランスでの佐賀酒ファンの創出及び佐賀酒の販売促進活動を支援した。

- 佐賀酒のPR及び情報発信
- サロン・デュ・サケ（パリ）への出展（10月）
  - ・出展者数：14歳40アイテム（うち11歳元が渡仏）
  - ・来場者数：4,600名

**(9) 物産振興支援事業**

**[4, 383, 307 円／佐賀県補助事業]**

百貨店、量販店等で開催される物産展等に県内事業者等を斡旋するほか、大手卸等の取引窓口として佐賀県物産品の販路拡大を図った。

ア 百貨店、量販店等で開催される「九州物産展」や「佐賀フェア」などの企画に積極的な提案による県内事業社の斡旋、広告媒体等による佐賀県の認知度向上の取組の実施

イ 大手卸等と直接取引のできない県内食品メーカーを対象とした、取引に際しての窓口として受発注・請求・支払等の業務の実施

- 斡旋回数：57回（九州地区22回・関西中部6回・関東以北29回)

**(10) 佐賀空港における県産品PR・販売促進及び観光情報発信事業**

**[30, 779, 475 円／佐賀県・佐賀市委託事業／手数料他]**

九州佐賀国際空港内にテナントショップを設置し、県産品の展示・紹介・販売、情報の提供を行うことにより、県内産業の振興を図った。併せて、佐賀市内の観光や産品の情報発信を行い地元産品の販売促進を図った。

ア 県産品PR・販売促進事業として、県産品のPR・販売、情報提供、特設コーナーの設置・運営等の実施

イ 佐賀空港内販売所観光情報発信事業として、佐賀市内の観光情報及び地元産品の情報発信の実施

- 売上：前年比108.5%
- 購入客数：34,468人

## 7 その他県産品販売支援に関する支援（他2）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【他2の個別事業の内容】

#### （1）関係協議会等との連携推進事業 [24,288,456円／自主・佐賀県補助事業]

県産品の販路開拓、情報発信など販売促進について、関係協議会（県・市町・関係団体等）等と連携、協力して推進するとともに、協議会事務局の運営を行った。

### 【参考】関係協議会等

#### 佐賀県農林水産物等輸出促進協議会

海外市場における佐賀ブランドの確立に取り組み、高品質な県産農林水産物等の輸出促進を図る事業を支援した。

##### ○輸出入関係者やシェフ等の招聘事業

- ・シェフ、食肉関連事業者招聘（香港、マカオ、タイ、フィリピン、台湾）
- ・食肉バイヤー招聘（タイ、台湾）
- ・加工食品バイヤー招聘（中国） 等

##### ○海外での販売促進活動

- ・ホテル・飲食店での牛肉フェア（シンガポール、香港、マカオ、タイ、フィリピン）
- ・小売店での牛肉販促活動・牛肉フェア（タイ、台湾）
- ・青果物の見本市への出展（香港）
- ・加工食品の展示会・商談会への出展（中国、香港）
- ・花き商談会への出展（アメリカ） 等

##### ○海外市場開拓調査

- 牛肉市場の視察（マレーシア）

## 8 収益に関する事業（収1）

《担当部署：さが県産品流通デザイン公社》

### 【事業の趣旨】

ふるさと納税に関する事業及び農林水産物、加工食品等県産品の販売事業により収益向上を目指した。

### 【事業の構成】

本事業は次の事業から構成される。

### 【収1個別事業の内容】

#### （1）ふるさと納税に関する事業及び県産品の販売事業

[5,939,932円／自主・佐賀県委託事業]

県のふるさと納税の返礼品に関わる受発注業務や、事務所等における県産品の販売を通して、収益の向上を目指した。

- ア ふるさと納税制度を利用した寄付者に対し、お礼の品（県産品）の受発注から商品到着までの管理確認及び支払業務等の実施
- イ さが県産品流通デザイン公社の事務所における県産品販売

○発送件数：5,476件

○収入額：6,967,418円

### 第3 庶務事項

#### (1) 理事会

年月日	内 容		
H30.4.1	第1回理事会 (書面)	第1号議案	副理事長（業務執行理事）の選定の件
H30.6.4	第2回理事会	第1号議案	平成29年度の事業報告、計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件
		第2号議案	理事の任期満了及び追加に伴う理事の推薦の件
		第3号議案	評議員会招集の件
H30.6.26	第3回理事会	第1号議案	代表理事及び業務執行理事の選定の件
		第2号議案	従たる事務所の所長及び重要な使用人の選任の件
H30.7.1	第4回理事会 (書面)	第1号議案	業務執行理事の選定の件
H30.8.31	第5回理事会 (書面)	第1号議案	監事候補の推薦の件
		第2号議案	平成30年度収支予算書の変更の件
H30.10.1	第6回理事会 (書面)	第1号議案	財産の一部処分の件
H31.3.5	第7回理事会	第1号議案	平成31年度事業計画及び収支予算の件
		第2号議案	一時借入金最高限度額の件
		第3号議案	評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程改正の件
		第4号議案	評議員会の招集の件

#### (2) 評議員会

年月日	内 容		
H30.6.26	第1回評議員会	第1号議案	平成29年度決算の計算書類及びそれらの附属明細書並びに財産目録の承認の件
		第2号議案	理事の任期満了及び追加に伴う理事選任の件
		第3号議案	理事の辞任に伴う理事選任の件
H30.9.5	第2回評議員会	第1号議案	監事の選任の件
		第2号議案	平成30年度収支予算の変更の件

H30.10.11	第3回評議員会 (書面)	第1号議案	財産の一部処分の件
H31.3.25	第4回評議員会	第1号議案 第2号議案 第3号議案	平成31年度事業計画及び収支予算の件 理事選任の件 評議員及び役員の報酬等並びに費用に関する規程改正の件